

WITHコロナ 非日常体験でリフレッシュ 「家庭用火火」6月店頭売り上げ昨対比156%

「NOT3密」のSTAYHOMEアクティビティとして人気

おもちゃ花火、煙火、玩具、雑貨、菓子を製造・販売する株式会社若松屋（本社：愛知県西尾市、代表取締役：佐野泰隆）で扱う「家庭用火火」の一部の販売店で6月の小売店店頭売り上げ額が昨年に比べ156%（※）と大幅に増えています。

※2020年6月1日～6月17日の販売実績



例年の家庭用火火の売上推移では6月から徐々に売れていき、8月のお盆にピークをむかえます。

また、全国の花火大会が始まるとともにあちこちで家庭用火火を楽しむ姿を見るようになりますが、今年は全国的に5月から売り上げが増加傾向にあり、一部の販売店では前年比120%の売上があがり、6月に入ってから17日までで前年比156%の売上とさらに好調をキープしています。

小売店A実績 6月1日から6月17日まで		
	数量昨対	金額昨対
東京	138.90%	131.70%
関東	155.20%	150.70%
東北	124.40%	159.10%
信越	183.90%	183.30%
中部	141.70%	143.70%
関西	142.04%	129.89%
九州	124.39%	126.62%
北海道	177.80%	184.70%
全店	156.10%	156.50%

今年は新型コロナウイルスの影響もあり、外出自粛の中で「家庭用火火」は「STAYHOME」にマッチし、また火を使うことから人と人との間隔が自然に開くため「ソーシャルディスタンス」、「NOT3密」の条件をクリアしていることが売上好調の要因であると考えられます。

また外出自粛のストレスの中で、「家庭用火火」は非日常を体験でき、リフレッシュできる商品として手に取りやすい商品であることも売れている要因の一つだと考えられます。

6月には「cheer up花火」として全国200カ所で悪疫退散を願い、無観客の中で打上花火があがり、そのニュースが流れるのと合わせるように「家庭用花火」で遊ぶ姿や遊ぶ音がきこえるようになりました。

今年は特に全国的に花火大会中止の動きの中で、お庭でできる花火大会として「家庭用花火」の需要は活性化されていくのではないかと思います。

【会社概要】

会社名 : 株式会社若松屋
代表 : 代表取締役 佐野 泰隆
本社 : 愛知県西尾市下羽角町岩谷56-1
東京支店 : 東京都台東区柳橋1-5-6
貝吹工場 : 愛知県西尾市貝吹町大牛切65
ホームページ : <http://www.wakamatsuya.tv/>
設立 : 昭和39年（創業昭和12年）
資本金 : 3000万円
年商 : 35億円
従業員数 : 55名
事業内容 : おもちゃ花火、煙火、玩具、雑貨の製造・卸売

〈お問合せ先〉

株式会社若松屋 広報担当：朝岡
TEL (0563)52-1331 FAX (0563)52-3888
担当者携帯 080-4062-7840 mail s-asaoka@wakamatsuya.tv

若松屋 広報事務局

担当：柴山（070-1389-0172）メール：pr@netamoto.co.jp
TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788